

年頭のあいさつ

「未来を見据えたまちづくり」に向けて

小清水町議会議長

坂田 秀 昭



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた穏やかな新春をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より町議会の活動に對しまして、深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

一昨年より世界中で猛威を振るっておりました新型コロナウイルス感染症は、国内におきましても急速な感染拡大となり「外出自粛」、「緊急事態宣言」などの措置と併せ、医療体制の整備、ワクチン接種など様々な対策の効果により、落ち着いた様子を取り戻しつつあります。

本町におきましても、医療機関のご協力により早期のワクチン接種が実施されるなど、幸いにして感染拡大に至ることはありませんでした。自粛による不自由な生活の中においても冷静に賢明な行動をとられた町民皆様のご努力と、医療・介護・福祉・教育現場で懸命に働いていらっしゃる方々のご尽力に、改めて心から敬意を表する次第でございます。

治療薬の実用化など収束に向けた明るい話題も出ておりますが、町民の皆様

おかれましては、引き続き感染防止対策の徹底に努められますようお願いいたします。

さて、本町基幹産業の農業におきましては、春先の低温と日照不足、6月以降の記録的小雨と7月からの高温による干ばつ状態に加え、9月には山沿いを中心に降ひょう被害を受けるなど大変厳しい気象状況の中、被害を最小限に抑え小麦、てん菜など平年を上回る収量となりましたことは、ひとえに農業者皆様のたゆまぬご努力と、関係機関のご指導の賜と改めて敬意を表すところでございます。

本年4月には、小清水高校跡地に農業振興拠点施設「アグリハートセンター」が開設され、本町農業の未来を育む新たな施設として大きな期待を寄せております。

商工業につきましては、長期に渡るコロナ禍の影響によりまして、飲食・観光業を中心に大変厳しい状況におかれております。

本年は、市街地の賑わい創出への新たな顔となります、新庁舎の建設工事が

本格的に開始されますことから、新型コロナウイルス感染症収束後も見据え、地域経済の回復、発展に向けた経済活性化策など、効果的な施策の充実に努めてまいります。

町議会といたしましても、「未来を見据えたまちづくり」に向けて、町民皆様のご意見、ご要望をお聞きした中でしっかりとした議論を重ねてまいりますので、より一層のご理解とご助言を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとって輝かしい幸多き年となりますことを心より祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

年頭のあいさつ

「未来へとつづくまち」を目指し

小清水町長

久保 弘 志



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、令和4年の新春を健やかに迎えのこと心からお慶び申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店等は営業自粛を余儀なくされましたが、全国的にワクチン接種が進むにつれ感染も落ち着きを見せる中、原油価格の高騰や新種株が確認されるなど、一年を通して気を緩めることができない年となりました。

感染拡大防止に對する様々な要請等にご協力いただいた関係各位、困難な医療提供を迫られる中、医療、福祉、介護現場でご尽力、ご貢献されている方々に心より敬意を表し、感謝申し上げます。引き続き、町民の皆さまにおかれましては、マスクの着用や手洗いなどの感染防止策の徹底にご協力をお願いいたします。

さて、基幹産業である農業につきましては、昨年は記録的な高温・干ばつにより、作物の生育が心配されるなど気候変化の影響の激しい年でありましたが、農業者の皆様のご努力と関係機関のご指導・ご支援により、無事に収穫作業を終えることができましたとお聞きし、安堵しております。農業を取り巻く環境は、日米貿易協定等に基づく国際化の進展や新型

コロナウイルス感染症による外食消費の低迷などにより厳しい情勢にありますが、加速する社会・経済の動きやデジタル化の急速な進展など様々な変化に對応していかなければなりません。

本年4月には、本町農業の振興を図る拠点施設「アグリハートセンター」(フェリーチエ)がオープンします。持続可能な農業基盤を守り続けるため、担い手の育成や確保などに関係機関と連携して取り組んでまいります。

商工観光におきましては、飲食店や観光業を中心に多くの関係者の方々に及ぼした新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、地域経済回復への対応が非常に困難な年でありました。

本年は、市街地の新たな賑わいと災害時の一時避難場所としての機能を併せ持つ「防災拠点型複合庁舎」に着工します。さらなる町の魅力発信により商工・観光業の回復発展、さらには地域経済全体が活性化していくための施策を関係機関と連携しながら進めてまいります。

教育につきましては、未来を担う子どもたちが「ふるさと小清水町」への愛を育めるよう教育環境を整え、安心して子育てができる保育環境の整備とあわせて、一層の充実に取り組めます。

また、町民の皆様が将来にわたり安心して暮らすことができる安全なまちづくりのために、少子高齢化・人口減少社会に對応した福祉と防災対策の充実を図るとともに、自治会や自主防災組織とともに地域住民同士が支え合う「地域の絆」を再生し、地域コミュニティの活性化に取り組んでまいります。

本年は、国全体において新型コロナウイルス感染症への対応に加え、地域経済の活性化を加速する様々な対策がスピード感を持って行われる年になると考えております。本町においても遅れることなく、先人の築き上げてきたこれまでの歴史を胸に、町民の皆様が幸せを感じ、笑顔で安心して暮らすことができる「未来へとつづくまち」を目指し町政に取り組んでいく決意でございます。

地方を取り巻く情勢は依然厳しく課題も山積しておりますが、「住み続けられるまち・住みたいまち」づくりのために、町民皆様の声に耳を傾け、町民と行政が一体となって取り組んでまいりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。